

お知らせ

1月号は休刊のため各代表の年頭の挨拶が今月号になりました。ご理解いただきたくお願いいたします。

岩 沢 通 信

第63号

2018年(平成30年)5月25日創刊
発行 岩沢アチコタネーゼ
岩沢地域振興協議会・岩沢分館
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

年頭のご挨拶

寒中お見舞い申し上げます。年明け早々20年前の「中越地震」を思い出させる地震が能登半島を中心として新潟県海岸沿いを襲いました。死者が200名を超え倒壊家屋が震源地の石川県だけでなく新潟県内各地で認識され、改めて自然災害の怖さを再認識しました。亡くなられた方々のご冥福と被災された方々の一日も早い復興を願うところです。

災害はいつ、なんどき発生するか知れませんが、日々の防災意識の向上といざという時の隣近所の助け合い、睦み合いを大切にする地域づくりをしていきたいと思えます。

昨年は高温続きで農家にとっては厳しい年となりました。振興会事業であります「岩沢まつり」も台風直撃という状況により、やむなく花火の打ち上げのみとさせて頂きました。自然との共存の難しさを痛感したところで

残念なことに、年々地域を後にする方々が増えておりますが、振興会といえども役員一丸となって地域の振興に取り組んでいきたいと考えます。今年も皆様の知恵とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



岩沢地域振興協議会
会長 長谷川 正夫

年頭挨拶



日頃よりアチコタネーゼの活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。新年早々に発生した能登半島地震は大きな災害をもたらしました。私たちも、中越地震を経験している者として、大変心を痛めております。一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

さて、アチコタネーゼでは、昨年同様、地域と共に何が出来るかを常に模索し、事業を進めていきたいと思っております。地域の窓口になれるよう今年もよろしく願います。

岩沢アチコタネーゼ
代表 関口 貞幸

岩沢商工業会新年会

1月13日桜町の大竹会館を会場に、コロナ過により令和3年から中止されていた岩沢商工業会新年会が久々に開催された。



冒頭、能登半島地震の被災者に対し、黙とうが捧げられ、大淵耕市会長は「新年早々に大地震や飛行機事故があり、波乱の幕開けとなったが、これに負けず元気を出し、商工業会として地域を盛り上げて行きましょう」と挨拶。また、来賓としては小千谷市から山口良信副市長が参加し、初めての挨拶



で自分の経歴などを語った。その後来賓として参加した振興会の大淵敏副会長の挨拶と乾杯で新年会がスタート。参加者はお酒を酌み交わしながら、親睦を深めた。

岩沢地域振興協議会新年会開催

雪ではなく、小雨の降る中ではあったが、1月21日(日)住民センターを会場として、岩沢地域振興協議会の新年会が評議委員を対象として盛大に開催された。



長谷川正夫会長からは「新年早々に能登半島地震が発生し、中越大震災した。防災の観点からも、普段から地域のコミュニティを守っていくことは改めて大切だと感じました」と挨拶。来賓の宮崎悦男市長からは「とにかく人口減少のスピードを何とか減速させなければいけない。その



れには外からの移住・定住が有効な手段である。今から空き家として候補になる家の活用を進める政策や補助金もあります。ぜひご協力、活用いただきたい」など、市政に対する熱い決意が感じられた。



住民センターからのお知らせ

小千谷市立図書館は新施設移転のため、3月1日から順次フロアが閉鎖となります。それに伴い、住民センターで貸し出している図書も暫く貸出をお休みとさせていただきます。休止までのスケジュールは下記ようになります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



貸出期間
3月22日まで

返却期間
3月末日まで

本の貸出を休止します

各町内(地区)にてさいの神が行われる



1月14日小正月の行事である「さいの神」が各町内で開催された。この日は前日の降雪もすっきり収まり、新潟の冬には珍しい快晴。桂町内は五里神社境内において、さいの神の前「釣りゲーム」や「雪中宝探し」などに老若男女が参加し、多くの賞品を持ち帰った。午前11時、境内に組まれた塔に厄年、年男と年女たちが点火し、熱い炎に包まれた。炎が落ち着くと参加者は一斉に竹竿の先に付けたスルメを焼いて食べたり、家に持ち帰り、今年一年の無病息災、五穀豊穡を願った。他にも山谷の各神社や市ノ口で、さいの神やどんど焼きが行われ、岩沢地区は今年一年の平穏無事を祈る行事に包まれた。

編集後記 地域の皆さん今年も「岩沢通信」のご愛読、宜しくお願いします。

1月の中旬に東京の渋谷にある国立オリンピック青少年センターで開催されたセミナーに日帰りで参加してきました。お題はズバリ「自治会・町内会講座」全国から約70名の自治会・町内会の経験者や現役、そして行政職員が参加して会場は満杯。新幹線の到着時間の関係から、開始ギリギリに会場到着した我々は一番前の真ん中に座ることになり、今回の講師はなぜか全員女性とすることから、女性の目線に立ったきめ細やかな集会所の運営やデジタル化による町内運営の事例が発表されました。中でも、宮城県仙台市の振興住宅地の町内会では役員15人全員が女性でスタートしたとのこと。主婦が参加しやすいように会議の時間や飲み会を行わないなどのルールを決めているそうです。

（一）

令和6年(2024年)カレンダー交換会を開催



家庭や職場で使用しない令和6年のカレンダーを集めて、必要な方と交換するカレンダー交換会が1月7日(土)8日(日)の2日間サンプラザの2階ロビーにて開催された。岩沢地域から提供されたカレンダーも並べられ、9時の開始直後には多くの利用者で会場は賑わい、日めくりなど毎年人気のカレンダーは早々に引き取り手が決まる光景が見られた。また、会場の一角では絵紙(浮世絵)や雛人形のミニ展示も行われ、民謡グループ「みんふうざ」の特別出演も組まれた。

交換会は「絵紙と小千谷のひいな祭り」のイベントとして組み込まれ、今年は2月24日から3月3日まで市内各地で絵紙の展示やコンサート、みんふうざの出演が予定されている。詳しくはホームページやポスター、チラシなどを見て欲しいとのこと。

<https://ojiyahiina-fes.localinfo.jp>

